

地域情報紙 [月刊]



2025 年 4 月号

発行：株式会社プロジェクト・エース
〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 1-36-9
エールハイム 202 TEL 03-5364-9301
https://projectace.jp/
info@projectace.jp

年間購読料：5,500 円 (税込) 毎月 1 日発行 通算 8 号

今月の主な内容

- p1** 令和 7 年 第一回区議会定例会閉会
一般質問で取り上げられたテーマ／答弁の内容
や話題から「杉並のいま」を深掘りしてみました
- p2** 荻窪消防署で 6 年ぶりの消防フェス
商工会議所のマルシェに杉並からも出店
いざという時の“バッククッキング”
神田川環七調整池インフラツアー
- p3** 杉並ジオ探索 連載⑤
「困った人？」連載③
NPO おでかけサービス杉並 20 周年の集いを開催
春の全国交通安全運動 自転車の事故防止などを重点に
すぎなみ ace の Instagram を開設しました
- p4** 河北総合病院 新病院開設に向けて 連載⑥
スポーツチャンバラ 杉並から初の世界チャンピオン
すぎなみ ace に原稿をお寄せください

答弁の内容や話題から「杉並のいま」を深掘りしてみました

防災対策

震災救援所指定は区内 65 カ所。
避難者数想定は杉並区で約 12 万 2
千人 (令和 4 年度公表・都が算出)。1 救援所あたりの備え
などはどうなっているのか。まず、避難者一人当たりの
面積は東京都基準と同じ 1.65 m² を想定。各所の備蓄状
況は以下のとおり。

パーテーション

概ね 50 部屋分

トイレ

30 人に 1 基分の備え、
男女比は避難状況で調
整する
トイレ用集便袋 5,700 枚

毛布

1,200 枚

ベッド

製紙会社と災害時に段ボールベッド提供の
協定 (概ね 1 週間以内に 1,000 人分、1 ヶ月
以内に 4,000 人分を調達)

エアーマット

400 枚

食料

2.8 日分備蓄、7 年度に 3 日
分まで増やす予定

入浴

区の震災救援所にシャワーや仮設風呂の配備無
し。東京都公衆浴場生活衛生同業組合杉並支部
と災害時協定を締結し、被災者が区内銭湯を利用
できるようにする

ペットの防災対策

「ペットは飼い主が同行避難」「人と動物の生活
空間を分離し、飼い主自身が責任を持って飼育
管理」が原則。避難者と別の場所で持ち運びケ
ージ等に入れて管理し、ペット用の水や餌等は飼
い主が用意する。
ペット避難場所の設営資材を各震災救援所に配
備予定で、65 カ所中 36 カ所に備蓄済で、8 年度
に全所に完了予定。
※ペットの防災訓練を毎年 10 カ所前後の震災救援所
で、「杉並どうぶつ相談員」(区が委嘱する動物ボラン
ティア) が協力し、実施。

みどり

区内の緑被率 (上空から見たときに樹木や草地などの緑
で覆われた部分が土地全体に占める面積の割合) について、
「みどりの基本計画」では「令和 14 年度に 25%」が目標。
令和 4 年度時点で 21.99%、5 年後 (令和 12 年度) に
24.70% の目標を達成するためには、新たに約 92 ヘク
タールの緑被地が必要となる。公園・緑地の新規整備で
約 7 割弱、民有地の緑創出で約 3 割強を想定している。
25% という目標を杉並区は堅持する方針で、創出とと
もに、緑を減らさない施策も推進する必要がある。「保
護指定制度」「市民緑地制度」「特別緑地保全地区」など、
一定条件のもとで税の優遇措置を活用する制度もある。
公園整備は区民一人あたり 5 m² の公園面積を目標にしてい
るが、地域偏在や緑地としてだけでなく災害時活用や多世
代が利用できるものにすることも考慮して推進される。



杉並区の職員採用

公務員も人手不足に？

令和 7 年度の新規採用は 284 名だが、土木建築など
一般技術職で 6 名、福祉職で 8 名が充足していない。公
務員試験受験者も大幅に減少しており、令和 6 年度当初
の杉並区職員数は 3,606 人の見込みだったが、内定辞退
などにより 3,583 人だった。

一方で、会計年度任用職員 (非常勤職員) は増員、育
休職員の代替えは常勤職員を目指しており、職員数全体
は増加予定で、人件費は退職金含めて令和 6 年度から 8
年度にかけて、408 億円→422 億円→440 億円と増加す
る見込み。

令和 7 年 第 1 回区議会定例会 閉会

2 月 12 日から 3 月 19 日まで 36 日間の会期で開催された杉並区議会令和 7 年第 1 回定例会は、令和 7 年度予算など
を議決して幕を閉じた。後半は予算特別委員会が連日開催され、各会派からの意見開陳を経て、賛成多数で決定している。

一般質問で取り上げられたテーマ

登壇順、敬称略、() は会派名、「～について」を略して記載

防災対策／平和事業について

山本 ひろ子 (杉並区議会公明党)

杉並区みどりの基本計画／東京外かく環
状道路工事／西武新宿線の連続立体交差
事業／旧杉並中継所の再利活用

浅井 くにお (杉並区議会自由民主党)

家族の在り方／杉並区の教科書

吉田 あい (杉並区議会自由民主党)

教育／施設マネジメント

わたなべ 友貴 (杉並区議会自由民主党)

震災救援所の運営／区職員の職場環境

矢口 やすゆき (杉並区議会自由民主党)

区長の政治姿勢／児童館・学童クラブ／
阿佐ヶ谷再開発

ほらぐち ともこ (都政を革新する会)

区立学校を取り巻く諸課題／共生社会に
向けて

大和田 伸 (杉並区議会自由民主党)

杉並区における性犯罪・性暴力の被害者
支援

山名 かなこ (れいわを耕す)

教育

小池 めぐみ (日本共産党杉並区議団)

高齢者への支援

くすやま 美紀 (日本共産党杉並区議団)

災害対策 (1) 水害対策 (2) 震災対策

渡辺 富士雄 (杉並区議会公明党)

子育て応援券／進路指導

鈴木 ちづる (維新・無所属議員団)

認知症になっても大丈夫と言える地域づ
くり

奥田 雅子 (区議会生活者ネットワーク)

防災／荻窪三庭園

宇田川 ゆうじ (無所属・都民ファーストの会)

杉並区を取り巻く医療環境

安田 マリ (立憲民主党杉並区議団)

二十歳の集いで区長挨拶から読み取れ
る区長の政治姿勢／杉並区と区長の瑞草
区との関わり

小林 ゆみ (far right)

小児医療／道路・治水とハード整備

井口 えみ (無所属・都民ファーストの会)

「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現す
るためのみどり政策とは

ブランシャール 明日香 (緑の党グリーンズジャパン)

子どもの学習支援・居場所事業／学校等
における作業療法士の活用／施策推進の
ための人材・場所の確保

田中 朝子 (維新・無所属議員団)

選挙における宣伝材料の“品位”／公的表
現物における男女の表象／復氏／住セー
フティネット法における民間資源の活用

奥山 たえこ (れいわを耕す)

暴走・迷走の岸本区政／教育／荻外荘／
杉並芸術会館 (座・高円寺)

田中 ゆうたろう (杉並をセンタク致し候)

ひきこもり支援／新型コロナワクチン定期
接種の問題点／防災・減災対策／弾道ミ
サイルを想定した住民避難訓練の実施／
戸籍制度／学校給食～オーガニック給食
～／言論統制

横田 政直 (参政党杉並)

2025 年杉並区政の課題と岸本区政の
対応

堀部 やすし (無所属)

児童館と子どもの居場所／杉一小改築と
阿佐ヶ谷のまちづくり

松尾 ゆり (杉並わくわく会議)

町会・自治会

災害時などには「共助」の力が大いに必要となるが、
町会・自治会の活動休止や解散も増え、役員の担い手不
足などが課題となっている。

区内の町会・自治会は現在 158 団体、うち 2 団体が休
止中。約 14 万世帯が加入し、世帯数全体の 42.4% にあ
たる。最小の団体は 13 世帯で構成され、この 10 年で 7
団体減、新たに 4 団体加わり、全体では減少傾向にある。

楽しみながら学ぶイベント

消防少年団による初期消火訓練披露



荻窪消防署で6年ぶりの消防フェス

地域の防災意識向上を目的とした「消防フェス」が荻窪消防署で3月1日、1,800名以上が来場して大盛況の中で開催された。2019年以降、新型コロナウイルスの影響で開催が見送られていたが6年ぶりに復活。地域の小中学校や地域区民センターなどで広報活動を行い、当日は親子連れなど当初の予想を大きく上回る来場者数となった。

会場では、模擬消火器を体験できる「初期消火訓練」、結索や救出訓練が体験できる「消防体験」、消防車両の前やミニ防火衣を着て写真撮影ができるコーナーなど6つの体験ブースを設置。また、消防少年団による応急救護や初期消火の訓練

披露、火災発生から消火までの流れを消防署の隊員がショー形式で行う消防演習や、増加している電気製品による火災や防火製品の消防ラボを実施。火災予防や消防の役割について、大人も子どもも楽しみながら学ぶ機会となった。



消防ラボ

商工会議所のマルシェに杉並からも出店



3月11日から14日までの4日間、丸の内二重橋ビルで「23区フード&スイーツマルシェ」が開催された。主催は東京商工会議所で、23区の各支部がそれぞれの地元自慢の銘品・逸品を集めた。23支部合同での開催は今回初の試みで、来場者は延べ3,117人。

出店の担当区が入れ替わるため販売商品も全て日替わりとなり、杉並支部

は初日に出店。「とらや椿山」「三原堂」「菓子結人」「和菓子の亀屋」「御菓子司青柳」「小張精米店」の6店および「東京商工会議所杉並支部京王井の頭線ブロック」から、和洋菓子、パン、カレー等さまざまな商品が集められた。「これ美味しそう!」「いろんなどら焼きがあるね」等、各ブースは老若男女で賑わいを見せた。

緊急時に備える!

いざという時の
“パッククッキング”

2月18日、高井戸保健センターで地域食育推進教室「パッククッキング教室」が開催された。パッククッキングは耐熱ポリ袋を使用する調理法で、災害時などに役立つ。当日はご飯やおかゆ、蒸しパン、煮物など5品を作り試食を行った。講師は特別養護老人ホームさんじゅ久我山の管理栄養士、麥田圭子(むぎたけいこ)さん。保健センターでは荻窪・高井戸・高円寺で、毎年「地域食育推進教室」として“食育”に関する催しが企画されており、今回は栄養士目線から考える栄養バランスを意識した防災備蓄について学ぼうというもので、すぐに申込枠が埋まるほどの人気だった。講師の麥田さんは災害時には塩分の摂り過ぎや野菜不足になりがちなことを挙げ、「非常食として売ら



れているものも被災直後の備えとしてももちろん有効ですが、レトルト食品や缶詰、野菜ジュースや乾物など、普段から使っているものを上手に取り入れて備え、パッククッキングも時々自宅でやってみて、いざという時にこの調理法があるということを頭の片隅に置いてほしい」と語っている。参加者からは「災害時の食材の備えを知ることができた」「日常にも活用できるといった」などの感想が寄せられた。

トンネル歩きと阿波踊りステージ

神田川環七調節池インフラツアー

計画から約40年の歳月をかけて事業が進んできた環状七号線の地下に伸びる「調節池」。まだ北伸が続けているが、この巨大トンネルが出来たことで杉並を横断する神田川水系(神田川に善福寺川、妙正寺川が合流し、隅田川へ)による都市型水害を大きく低減させてきた。

ツアーは方南町駅近くの善福寺川取水施設内を見学したのち、実際に45m以上地下に降りて巨大トンネル内を約600m歩くというもの。そのトンネル内の真っ暗な空間で「阿波踊り」が披露されるイベント付き。阿波踊りは高円寺「菊水連」が登場し、ライトに照らされ長い影を映し出しながら、音が響き渡る幻想的な踊りを楽しませてくれた。



このインフラツアーは東京都公園協会の職員がガイドや安全管理を務めて実施されており、東京都のHPなどでも案内されている。年に数回、阿波踊り以外にも企画をセットして開催されている。今回は2月9日に実施されたツアーに同行したもの。



トンネルの壁に区内小学生の絵画

私たちは すぎなみ ace を応援します!

まちづくりを共に考える
有限会社
トライエム
代表取締役 前田義之
東京都杉並区阿佐谷南 1-34-6
新東京会館ビル

株式会社
アーバンファミリー
アブラック募集代理店
代表取締役社長 榊原裕記
東京都杉並区上荻 1-23-19-4A 東神荻窪ビル
Tel. 03-3391-8808

株式会社
渡辺一建設
代表取締役 渡辺功一
東京都杉並区堀ノ内 2-32-4
Tel. 03-3313-3121

株式会社 MK ホールディングス
代表取締役 牧野光洋
東京都杉並区堀ノ内三丁目 25-5
Tel. 03-3313-2511

会社を、商品を、活動を、もっと素敵にアピール!

企画立案から取材、原稿作成、デザイン、印刷・製本・納品まで
各種印刷物の編集制作を一貫してお手伝いします。

※印刷はご指定の印刷所でも対応いたします。

各種印刷物の編集制作なら 株式会社 プロジェクト・エース TEL 03-5364-9301 Eメール: info@projectace.jp



会社や団体の広報紙など



杉並 ジオ探索 連載⑤

杉並に活断層はあるのか？

日本は地震が非常に多い国です。大地震による被害は、地震動による“揺れ”によって生じるものと、地震を引き起こした断層によって地表に発生する“ずれ”によるものに分類できます。今回は、地震時の断層の“ずれ”による被害について考えてみます。

内陸部の浅い場所で発生する大地震では、地表に“ずれ”が生じることがあります。地層を切って“ずれ”が何度も繰返し、今後も“ずれ”が生じる可能性がある断層を「活断層」と言います。2014年11月22日に発生した長野県北部の地震では、活断層として知られていた神城断層が動きました。写真は地震直後に撮影したもので、道路に“ずれ”が生じ、奥側が約1m高くなっています。この様な“ずれ”の上の建物は

倒壊の危険性が極めて高いです。活断層は繰返し何度も動き、特徴的な「断層変位地形」をつくり、その地形から活断層位置を特定します。活断層の位置は、国土地理院による地理院地図¹⁾で確認することが出来ます。活断層図を見ると東京都内では立川断層が活断層として示されています。立川断層は、埼玉県入間市から東京都青梅市や立川市を通り、府中市まで連続している活断層です。国の地震調査研究推進本部によると、この立川断層で地震が発生した場合には断層の北東側が2～3m 高くなると予想されています²⁾。このような活断層が分布する場所で家や構造物を建てる際には、活断層が動いた際の“ずれ”に注意が必要となります。杉並周辺では、このような活断層による特徴的な地形は確認されておらず、活断層による“ずれ”で被害が生じる可能性は極めて低いです。しかし、地震で生じる“揺れ”については注意が必要です。

(日本大学文理学部 非常勤講師 小俣 雅志)

1) 地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp/>

2) 地震調査研究推進本部 (2003) 立川断層の評価 https://www.jishin.go.jp/main/chousa/katsudansou_pdf/34_tachikawa.pdf



長野県北安曇野郡白馬村塩島地震断層(筆者撮影)

すぎなみ ace の Instagram を開設しました

この度、「すぎなみ ace」の Instagram を開設しました。紙面では紹介できなかった写真や動画、グルメ情報、街のちょっとした話題 などをお届けしていきます。Instagram を通じて、地域みなさんともっとつながりながら、杉並の魅力を一緒に発信していけるアカウントを目指しています。ぜひフォロー＆チェックよろしくお願いします！



春の全国交通安全運動

4月6日から15日まで、今年も「春の全国交通安全運動」が全国一斉に実施される。交通安全意識を高め、交通事故防止を呼び掛ける目的で、各警察署とともに交通安全協会などが啓発活動を展開する。

自転車の事故防止などを重点に

杉並区内でも各地にテントが設置され、区民への啓発活動が行われる。今年の運動では、「正しい横断方法の実践」「歩行者優先意識の徹底」「ながら運転根絶」「二輪車の交通事故防止」「自転車・特定

小型原動機付自転車利用時のルール遵守の徹底」などが重点項目として挙げられている。



私たちは すぎなみ ace を応援します！



株式会社 オータカ

代表取締役社長 大高一義
東京都杉並区堀ノ内 3 丁目 37 番 5 号
Tel. 03-3315-7151



株式会社 コージー

代表取締役 氏橋治信
東京都杉並区成田西 3-12-9
Tel. 03-3392-8161



有限会社 ヒロ空間企画

代表取締役 小野博文
東京都杉並区方南 2-12-18 多田ビル 4F
Tel. 03-3318-1073

「困った人？」

発達障害・パーソナリティ障害を
みんなが理解すれば……



『あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する』(著者：柴田豊幸氏) より

第3回 発達障害とは？ ②

「発達障害」を抱えている人と一緒に働く上で、周囲の人たちは「発達障害」に対して理解を深めることが大切です。例えば、皆さんの周りで、このようなケースはありませんか？

《通常の会話では考えられないような些細な表現にこだわって言い直しをしたり、話が飛んだり、的外れな質問や答えになったり、理詰めで話をしたので、会話が成立しにくい》

対応方法の例としては、一度こだわり始めると、まわりがどれだけ丁寧に答えても、ASD (自閉症スペクトラム

障害) の人にとっては、なかなか受け入れられません。話の一つ一つ反応せず、相槌を打ちながら聞いてあげると良いでしょう。

発達障害の人と向き合う過程では、周囲の人にもまたストレスを溜めてしまい、両者の関係が悪化したり、更にはそのことによって本人の状態が悪化してしまったりするケースもあります。しかし、歴史的にも類まれなる才能や高い集中力を発揮してきた人たちもいます。そのため、周囲の人たちは適切な対応方法をきちんと理解することに努め、両者にとって最適な環境を整えていきたいものです。



【著者紹介】(株)チャイルド社会長・(株)幼保経営サービス社長のほか、パピーナ保育園ほか各地の保育園総園長や社会福祉法人理事長などを務め、自身も保育士資格を持つ。地域では荻窪法人会会長、東京商工会議所杉並支部副会長、杉並区社会福祉協議会理事など。

【著書・監修】『あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する』『選ばれる園になるための実践マニュアル』『どうする！園の赤字』『園の働き方改革』など多数

障がいやこころの病気について考える

NPO おでかけサービス杉並 20周年の集いを開催

NPO 法人おでかけサービス杉並(秋山栄織理事長)は2月16日、西荻地域区民センターで20周年の集いを開催。長年にわたって移動サービスを利用し続けている会員や運転協力員として活動している人たち、事業を支えるスタッフなど約80名が集い、手作りの演出で笑顔が溢れる集いとなった。

同法人は2005年にNPO化して以降、高齢や障害によって公共交通機関での自由な移動が困難な人に向けた移動サービスのほか、杉並区立ゆうゆう館(桃井、善福寺)の受付等の業務、

杉並区外出支援相談センター(もび〜る)の受託など複数の事業を手掛けている。全国的にNPO法人は2017年に51,866法人をピークに減少傾向にある。従事者の高齢化や事業継続が課題となり、新規認定数は緩やかに増加し続ける一方、解散する法人も増加している。その中で同法人が20年を超えて活動を継続、発展させていることは意義深い。「誰もが暮らしやすい杉並のまち」のために今後も地道な活動を、地域密着で展開していくことが期待される。

松尾建設株式会社
東京支店
執行役員 支店長 江頭利浩

MATSUO

東京都杉並区高円寺南 2-16-13
Tel. 03-5378-2281
<http://www.matsuo.gr.jp>

生活支援サービス アシストクラブ

ご高齢の方や

「一人では不安」という方々の
“お手伝い”をさせていただきます！

ご自宅で生活される方、老人ホームなどで生活される方々で、人の助けがあれば外出できる、ご自身の都合でお出かけしたい、ご家族や職員さんの付き添いが難しいといった方々の“お手伝い”をいたします。

年会費なしで、ご利用の際は電話などで予約可能。介護保険などの公的保険外のサービスなので、フレキシブルに対応します！

お問い合わせ・お申し込みは TEL 03-5364-9301 Eメール: info@projectace.jp

これまでのご利用例：通院の同行(診察時の説明や薬の説明などもご家族や施設の職員にレポートでご報告)／おでかけサポート(お祭り、ドライブ、お墓参り、ご家族との会食など)／一緒にお買い物



連載⑥

河北総合病院新病院開院まであと 3 か月を切り、建物はその全体像が見えるようになってきている。そこにどのような『魂』が詰め込まれるのか、これまで各診療科を率いる医師の皆さんに語っていただいていた。その新病院の機能をフルに活かすために重要となる、「連携」について、今後の病院の舵取りを担う経営陣の一角で奔走している社会医療法人河北医療財団副理事長、河北総合病院副院長、入退院・地域情報センター長の河北光（かわきた ひかる）氏に話を伺った。（中田）

急性期医療の先の連携がなぜ重要か これからの地域医療を支えるための連携

高齢化が進む中、地域医療の在り方も変化し続けています。杉並区に限らず、今後さらに高齢者が増加することで、救急医療の需要はますます高まるでしょう。しかし、急性期病院だけでその対応を続けるのは困難です。救急・急性期病院は、患者さんを受け入れ、初期治療を行い、診断し、治療方針を決定する役割を担います。その後の療養やリハビリを必要とする患者さんを、適切な病院や診療所、施設へつなぐことで、新たな患者さんを受け入れることが可能になります。必要な人に必要な医療を適切に提供し続けるためには、急性期の「先」の連携が欠かせません。

幸い、この地域には多くの病院や医療施設があります。しかし、医療資源が限られている地方とは異なり、都内では選択肢が多いため、患者さんやご家族の希望、病院・施設側受け入れ条件を調整し、最適なマッチングを行うことが求められます。この連携業務は、残念ながら、まだアナログの世界です。1 例をあげるならば、日本では、電子カルテの共有が進まず、システムティックな連携の実現が難しいのです。個人情報取り扱いが厳しいため、テクニカルには可能だと思いますが、規制の壁がありなかなか進まないでしょう。そのため当院では、職員が日々医療機関と密に連絡を取り合いながら、患者さんにとって最適な連携を構築できるよう努めています。

ニーズの変化と自らの変化 新病院は建物だけでなく「刷新」のチャンス

河北総合病院のスタンスは開設時の 97 年前より変わらず、「地域から必要とされることを提供する」です。地域のニーズが変化する中で、私たちが提供する医療も変えていかなければなりません。新病院では、救急医療のさらなる強化、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入、放射線療法を含めたがん治療に力を入れます。これにより、患者さんの身体的負担が少なく回復も早いことに加え、都心の大学病院等まで行かなくても地元で治療を受けられる環境を整え、地域の



メインエントランスのイメージ

方々が日常生活を大きく変えることなく治療を続けられるようにします。

私自身、救急医としての基礎は沖縄の県立病院での研修医およびその後 3 年間の専攻医経験によって培われました。そこで学んだのは、「救急は断らない」「離島医療を支える」「患者さんの話をじっくり聞き、検査だけに頼らない診療を行う」という姿勢でした。これは、医師としてはよい経験でした。しかし、税金が投入される公立病院であっても、経営の観点から見ると課題は多く、民間病院であればなおさら、健全な運営を維持しなければなりません。医療を継続できなければ多くの患者さんに迷惑をかけることになります。

単に建物が新しくなることを意味するのではなく、「医療のあり方そのものを刷新するチャンス」でもあります。これまでの業務の流れや習慣を見直し、中身から生まれ変わる機会と捉えています。コロナ禍の最前線で救急医として携わった経験を踏まえ、今後はプレイヤーとしてだけでなく、マネジメントの視点も持ちながら、病院経営に関わる責任を果たしていきます。大きな投資を行って新病院をつくる以上、その責任の重さを強く感じています。しかし、それ以上に、新しい病院に生まれ変わることへの期待とワクワク感もあります。地域の方々にとって、建物だけでなく医療の質そのものが新しくなった病院を提供し、地域医療の役割分担や連携を強化しながら、必要な医療を継続していきます。

河北総合病院
副院長
入退院・地域情報センター長
河北 光（かわきた ひかる）



すぎなみ ace はこちらに置いていただいています

アママコムギ（本天沼）／阿佐ヶ谷すずき診療所（阿佐谷南）／アンファミーユ（enFamille）（天沼）／石井薬局（阿佐谷南）／大藪保険コンサルタント（天沼）／おきやんち（阿佐谷北）／オートセンターイグチ井草店（井草）／カレーショップ KYU-（阿佐谷北）／河北総合病院（阿佐谷北）／木村屋（阿佐谷北）／KUMARI 阿佐谷（阿佐谷南）／高円寺南保育園（高円寺南）／興建社（荻窪）／さんじゅ阿佐谷（阿佐谷北）／さんじゅ久我山（久我山）／視覚障害者支援総合センター（桃井）／新泉サナホーム（和泉）／杉並区立中央図書館／西武信用金庫 阿佐ヶ谷南支店（阿佐谷南）／とらや椿山（阿佐谷南）／脳梗塞リハビリセンター 阿佐ヶ谷（阿佐谷南）／PIZZA FORNO CAFÉ ビーンズ阿佐ヶ谷店（阿佐谷南）／マイルドハート高円寺（高円寺北）／ミスティ・オーバース（阿佐谷南）／武蔵商事（上荻）／Yazetto（阿佐谷北）／渡辺建設（高円寺南）

社会福祉法人杉樹会が運営する
福祉有償運送サービス

サポートさんじゅ

法的な講習を受けたドライバーが運転
必要に応じて添乗や介助などの支援も



高齢や障害などで自身で公共交通機関などを利用する外出が難しい方々の移動をサポート



通院、通所、通学、お買い物などの日常の移動だけでなく、楽しみのお出かけもお手伝いします。

お問い合わせ・申し込みは TEL 03-5364-9302

すぎなみ ace に原稿をお寄せください

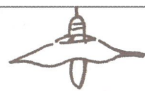
『言葉にしてみませんか？』

SNSなどで発信が気軽にできる今だからこそ、考えて、文章にして、活字にして、他の人たちと共有することにこだわっています。意見交換や発表の場、情報発信のツールのひとつとして、是非ご参加ください。

★時々思うこと、意見や提案として言いたいことなど、1回1テーマ「400字程度」で
★趣味のご紹介や家族やペットの心温まるできごと、会社やお店で出会った素敵

すぎなみ ace で
「地域の皆さんの声」を
活字にして発信します！

な話、エッセイや俳句、川柳なども歓迎！
★編集部には住所、氏名をお知らせいただきますが、掲載はご希望により匿名も OK
編集、掲載にあたってご連絡をする場合があります。紙面の都合で字数調整等のご相談をする場合もありますので、あらかじめご了解ください。
【メール】info@projectace.jp



編集長のつぶやき



目指すものに心を寄せて

ある老人ホームの 1 周年記念の会に参加する機会があった。介護施設は基本的に夜勤も含めた交代制のために従業員が一堂に会することが難しい。にもかかわらず、ほぼ全員に近いと思われる人数のスタッフの合唱や、1 年間の振り返る膨大な枚数のスライドショーを披露するなど、相当に力を入れて準備され、ホーム長へのサプライズプレゼントも用意された。イベントのメインは入居者の方々が何カ月も練習してきたハンドベルの演奏と歌。スタッフが用意したステージでイキイキと演奏する姿、サプライズに感激して泣き出す

ホーム長やスタッフ、温かい拍手を送りながら見守る家族、みんなで祝う素敵なひとときだった。日々の仕事が忙しく大変になってくると、いろいろなことが後回し、疎かになりがちである。介護や福祉職場に限ったことではない。家庭や友人・知人との関係にも言えることかもしれない。周年行事や記念日、お祝い事など、イベント自体が目的ではなく、何のために何を求めて行うのかと、ちょっと心を寄せて企画することを忘れないようにしたい。

紙面でお届けする情報も、そこにあるエッセンスをお伝えできるような情報紙でありたいと改めて思う。

編集発行人 中田あかね